

平成 29 年度岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 岡山県内農業の発展要因を明かにし、研究課題をつかめば、その成果は運営方針にもっと貢献できると思われる。 2. 重点分野の選定方法が、県民に対して周知されていない印象を受けた。県民ニーズを積極的に取り入れるシステムがあってもよい。 3. 実践的な研究成果は岡山県民にもわかりやすいため、引き続きこういった研究を進めるとともに、そのベースとなるような基礎研究についても着実に成果を積み上げて欲しい。 4. 岡山の農業に貢献しうる課題設定になっている。高く評価できる。 5. 農業研究所とうまく連携しいほしい。研究内容が、重複しないように。					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 1人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 県費予算については、研究費が毎年削減している中で、外部資金を積極的に獲得することでそれを補完しており、研究者の努力がうかがえる。 2. 取り組んでいる課題数に比べ、研究人員の数が少ないように思われる。					
3 施設・設備等	非常に優れている 1人	優れている 2人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 多くの設備が購入後経過しているだけに、機能が果たせるか疑問がある。 2. 大学等を含め県内研究機関で機器の共同利用システムが構築されることを望む。 3. 外部委託と所内で維持した機器による分析をどう使い分けるかの線引きが難しいと思うが、より効率的な方策を検討して欲しい。 4. 敷地はもっと有効活用できるのではないかと。					
4 研究成果	非常に優れている 2人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 知財のあり方については、岡山県全体としての判断が求められるが、自治体としてより効率的な知財戦略が求められる。また、知財の積極的な利用展開についても研究所として研究者の立場から積極的に関わることが大事であると思う。 2. 今後の実用化や収益化の際に、県内の他部署との調整や情報提供が不可欠であると考えられる。 3. 論文と実用化を両立することは難しいが、インパクトの高い論文の発信を期待している。					
5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、 依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. もう少し県内企業、県民への研究成果の還元が見えてくると良いと思われる。 2. 生物科学研究所と様々な外部の組織との関係が構築され、本研究所で行われている研究の意義がうかがわれる。 3. 元来、研究業務が中心であり、技術指導、普及等についてはセンター等で検討が必要である。					
6 人材育成	非常に優れている 1人	優れている 2人	妥当 2人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 流動研究員の受入は、修士修了者も受入れ、貴研究所在職中に博士の学位取得、研究者へと育成するシステムの構築を望む。 2. 若手研究員のかなりの数が、大学教員等の職についている事実は評価できる。これらの人材との共同研究等を進め、それらの情報を広報していくことを期待する。 3. 人材育成は、将来に向けて必要であり重要であるが、生科研での研究がどう生かされているか役立っているか不明だ。					

7 他機関との連携	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
-----------	----------------	-------------	---------	--------------	----------------

助言、指摘事項等

1. 研究内容、課題解決手法が秀でていだけに、研究内容の設定、成果の検討等を、他機関と連携して進めることが必要ではないか。
2. 他大学、研究機関とも積極的に共同研究を行い、その成果も多く発表され、今後とも更なる連携の強化を期待する。
3. 日本各地の研究機関・企業との研究、岡山での共同プログラム及び農業研究所との共同研究は、他の研究機関の見本となる形であり、高く評価でき、大いに広報されることを望む。
4. 研究所だけではなく、岡山県の他部署との連携を図りながら進めていく必要がある。

8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 人
-------------	---------------	-------------	---------	--------------	----------------

助言、指摘事項等

1. 県民の困り事、或いはこれらを情報として掴むことが出来れば、もっと県民、地域に貢献出来ると思われる。
2. 県庁に働きかけるなど、広報を強化して、県民、地域の方々へ研究成果を一般の方にも理解しやすいようにアピールし、研究成果を還元すると良いと思われる。
3. 岡山の研究機関・企業等との連携がかなり現れており評価できる。これらを積極的に広報することを期待する。
4. 研究内容や成果は岡山県民・地域にとって十分に価値のあるものと思われる。今後これらの研究成果を県民にフィードバックすることが重要である。
5. 研究成果だけではなく、情報発信、技術相談などを通じて大きく貢献している。

9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
--------------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

1. 概ね指摘事項に関しては対応されている。
2. 知財の利活用については、さらなる展開を期待する。
3. 運営方針や重点分野については、県民に理解されるような実践的な課題が設定されており、その成果も上がっていると思われる。
4. その時々の課題・指摘に対して、対応・改善を行っていると思受けられる。

総合評価	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
------	----------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

1. 現状の研究内容であっても地域に特化した農作物、例えば、桃、黄ニラの農家事業拡大が図れるのではないかと思える。地域創成時代の中で、地域間競争が激烈を極めているだけに、研究成果が期待される。
2. 研究所開放など頻繁に実施し、小、中、高校生など含めて県民の方々へ、研究内容や研究成果をわかりやすく、地道に伝えていくことも重要である。
3. 研究所で修士卒も研究員として受け入れ、博士学位取得に向けて研究、教育し立派な研究者へと育てる人材育成システムもあってもよいと思われる。
4. 地方自治体のバイオテクノロジーに特化した研究機関が日本に少ない中、非常に成果を挙げていると評価できる。今後は現在の展開を維持しつつ、知財のあり方、企業や農業団体との共同開発を積極的に進めて、目に見える製品を作り出していくことを期待する。
5. 研究成果を実際に岡山県の各地域や県民がどの程度活用できるかという点については、本研究所内だけの問題ではなく、県内の他の機関や部署との連携にも依存するように思われる。本研究所が研究の専門機関であることを踏まえれば、岡山県の他機関との連携で活用して頂きたい。
6. 所長のリーダーシップの元、岡山県農業の発展のため問題解決型の研究を実施している。また研究成果も着実に出ています。
7. 岡山県農業に大いに貢献していることは事実と思う。今後とも、地道に、着実に進めてもらいたい。